

第5回東久留米市事務事業に関する外部評価会議経過要録

日時	令和3年11月22日(月) 午後2時00分～午後2時30分	形式	オンライン形式
議題	(1) 令和3年度外部評価対象項目(個別評価)に関する外部評価結果の取りまとめについて		
配布資料	資料 1: 令和3年度外部評価シート		
出席者	委員		
	1 朝日 ちさと	2 平井 文三	3 加賀田 淳子
	4 富永 弥生	5 野崎 林太郎	
	事務局		
	1 企画経営室長(長澤)	2 行政管理課長(傳)	
—市長挨拶—			
1 開会			
【企画経営室長】これから第5回東久留米市事務事業に関する外部評価会議を開会する。会議の進行は、前回は引き続き、私(長澤)が執り行う。			
—議題の説明—			
会議に入る前に、行政管理課主査より報告及び確認事項を申し上げる。			
【行政管理課主査】本日の会議における出欠席者について報告する。全員参加であり、定足数3名に達しているため会議は成立している。また、第1回会議でも確認したとおり、本会議は公開を原則としている。本日は、まだ傍聴の方がみえていないが、今後いらした場合は、入室していただく。			
—配布資料の説明—			
【企画経営室長】議題に入る前に、第4回会議録の確認について課長から説明する。			
【行政管理課長】第4回会議の会議録(第4回事務事業に関する外部評価会議経過調書)については、11月11日にメールにて送り、内容についてご確認いただいた。修正等は11月16日までに頂くこととなっていたが、特に修正のご連絡はなかった。			
2 議題			
(1) 令和3年度外部評価対象項目(個別評価)に関する外部評価結果の取りまとめについて			
【企画経営室長】本日の資料については、第3回会議で示した外部評価シートに、第4回会議において所管課との質疑応答をした中での意見等を事務局で整理し、「4 外部評価結果」の欄に記載したものである。本日はこの内容について意見等を頂きつつ、「4 外部評価結果」の内容を決定していきたい。その後、「5 外部評価結果に対する市としての方針」を市で作成した上で、年内に市内部の会議において、今年度の外部評価シートを最終決定していくことを予定している。それでは「4 外部評価結果」の内容について、行政管理課長から説明する。			
【行政管理課長】			

—資料1「4 外部評価結果」の説明—

【企画経営室長】意見等はあるか。

【委員】外部評価結果の④について、この基本事業に係る基本的な方向性として、高齢者、障害者、外国人、子どもたちを挙げ、「だれにとっても」とある。施策成果等アンケート調査では、年齢、居住地域、居住年数、職業を聞いているが、外国人や障害者にアンケートが行き渡っているか、また、そういった方々からの広聴広報に関する要望が得られているのかが分からない。「市民」に様々な属性の方々が含まれていると思うが、若年層のみ例として挙げられていたため、施策成果等アンケート調査の他に、障害者にとってどうなのか、外国人にとってどうなのかといった広聴広報についての意見を得る手段はあるのか、分かれば教えてほしい。

【企画経営室長】障害者や外国人からの意見を集約、把握しているかについて、広報や市からの情報提供への満足度を調査していたかどうかも含めて、現在お示しできるものがない。事務局にて確認し、後日情報提供する。

【委員】承知した。何らかの形で広聴広報について意見聴取をしているのであれば、今回の記載で問題ないと思う。

【委員】令和4年1月に広報紙のリニューアルを予定しているとのことだが、リニューアルにあたって、どういう紙面にするかなどを検討する際のプロセス、検討メンバー、コンセプトを教えてほしい。自分の企業も紙面や店舗の改装をやっているため、市ではどういった取組みで刷新しようとしているかを知りたい。

【企画経営室長】広報紙のリニューアルについては、様々な自治体の広報紙を参考にしながらより見やすく、また、多く寄せられている広報紙に対する意見も踏まえながら、秘書広報課で検討を重ねている。高齢者や子育て世帯など、対象者別に情報を区分して掲載することも検討している。

【委員】承知した。

【企画経営室長】その他、意見・質問はあるか。

—特になし—

【企画経営室長】令和3年度外部評価シート「4 外部評価結果」については、この内容で決定とする。また、先ほど説明したとおり、「5 外部評価結果に対する市としての方針」を市で作成した上で、年内に市内部の会議で最終決定していく予定である。その後、各委員へも共有のため本シートを送付させていただく。また、先ほどいただいた質問については、事務局で確認の上、情報があれば提供させていただきます。

【企画経営室長】それでは、(1) 令和3年度外部評価対象項目(個別評価)に関する外部評価結果の取りまとめについては以上とする。

【企画経営室長】これで今年度の外部評価会議はすべて終了した。委員の皆様には外部評価委員として東久留米市の事務事業について忌憚のないご意見をこれまで多くいただき非常に感謝している。外部評価委員の皆様から意見・感想をいただきたい。

【委員】今年度もいろいろと情報を用意いただき、感謝している。昨年度の外部評価対象事業であったデジタルに続いて、今年度の広報関係の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で環境が変化してきており、重要度も上がってきているため、評価の対象としても考えさせられることが多かった。東久留米市の取組みもよく分かり、また、今回大きく取組みを変えようとしていることも感じられ、期待できる場所があった。今回の基本事業は、対象は広いが、まとまりがあったため、比較的事業につい

での情報が把握しやすかった。その反面、広報事業は、届いているのかどうかの効果や成果が把握しづらいついて言われてきた分野でもある。しかし、デジタル技術や広報のやり方によって、その点も変わっていくのではないかと期待できる。

【委員】今年度の評価対象事業のテーマは、先の委員がおっしゃる通り効果が把握しにくいいため、こうした方が定量的な効果が得られたり改善が図られたりするのではないかと言及しにくいテーマだったことから、なかなか発言できず反省もしている。広報事業は、民主主義の学校たる地方自治において、行政側と市民を双方向でつなぐ重要なパイプでなければならないと考えている。この10年で技術革新が著しく進む可能性のある分野でもある。引き続き、市として改善、ブレークスルーに向けて取り組んでほしい。

【委員】委員として参加することで、市民としてでは知り得なかった市の取組みが分かった。生活者として市と関わることは少ないが、コロナワクチンの集団接種などでも迅速に対応している姿勢を見ても、東久留米市に住んでいてよかったなと感じた。大変勉強になる会議だった。

【委員】市民としてでは知る機会がなかなかない、自分から求めないと得られないようなことも、会議に参加することで知ることができ勉強になった。市を良くしよう、市民のために、という気持ちで市職員が様々な働きかけしているということを知ることができたことが、委員として参加した特権であると感じている。市民委員を募り、市政に関わりを持たせるという市の体制や考えにも感謝する。

【委員】市政について分からないなりに意見や質問をしてきたが、丁寧に答えていただき感謝する。理解が深まった。子育てをしている市民として、市に感じていることを直感的に質問させていただいたり、また、一事業者としての疑問や質問や、組織を持つ者として自身の取組みの成功事例やうまくいかなかったこと、市でも出来たらいいと思うことなどを正直に述べさせていただいた。逆に市の先進的な取組みを参考にさせていただいたり、中小企業だからこそ見える課題や他市の事例を共有させていただいたりした。市民としても市内事業者としても、これからも市とともに頑張っていきたい。

【企画経営室長】貴重な意見を頂き感謝する。委員の意見にもあったように、情報提供は市民が市政に参画する際の重要なパイプであるため、市民に求められている情報を行政がどこまで提供できるか、DXを通して解決していかなければならない課題であると感じている。事業の成果をどう把握していくかという課題についても、解決していかなければならないと改めて感じた。これからも市政発展のため色々と意見等をいただきたい。

【企画経営室長】以上で、令和3年度第5回東久留米市事務事業に関する外部評価会議を終了する。本日は、お疲れ様でした。

以上